

あじさい公園

安富地域推奨の花、あじさいがたくさん植えられています。6月の中ごろから美しい花が咲き始め、梅雨の空を華やかに彩ります。公園にある池にはシュレーゲルアオガエルやモリアオガエルがいます。

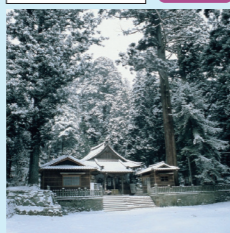
行った日



安志加茂神社

京都の賀茂別雷神社(上賀茂神社)の荘園、安志庄の総社として建てられた神社です。境内には安志稲荷、新池の中には弁天宮がまつられています。杉の大木が雷を受けてくれるので、神社の氏子には雷が落ちないといわれています。

行った日



安志藩陣屋跡遺跡等

享保2年(1717)、豊前中津から安志に移ってきた小笠原氏は、今の安富中学校の場所に御殿をつくりました。その表門は長野の真光寺の山門として、また大手門は姫路市実光寺の齋神社の山門として今も残っています。

行った日



安志姫神社

「播磨国風土記」という本に書かれている安師里の名前のもとになった「安師比売神」がまつられている神社です。安師比売は大和の穴師座兵主神と同じ系列の神さまと思われます。その時代、大きな力を持っていた伊和の大神に安師比売が対抗できたのは、大和の力を借りたからだと考えられます。

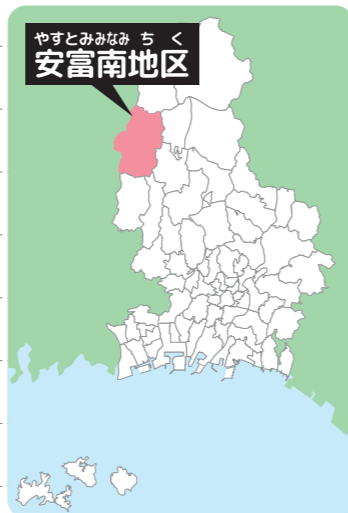
行った日



今念寺五重石塔(県指定文化財)

今念寺にある凝灰岩でできた石の塔で、相輪という部分が残っていません。残っている部分の高さは1.91m。鎌倉時代に作られたものと思われます。文字が彫ってある石でできた塔としては兵庫県で一番古いものです。後に「弘安三年(1280)庚辰二月願主沙弥成仏」と彫られています。県の文化財に指定されています。

行った日



71 安富南地区



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



安富南地区には、約1400年も前につくられた古墳から、江戸時代の陣屋の跡まで、いろいろな時代のものが残っています。他にどんなものがあるのか調べてみましょう。

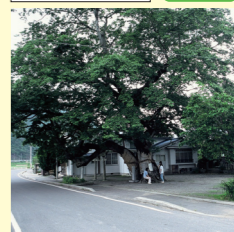


- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝説行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



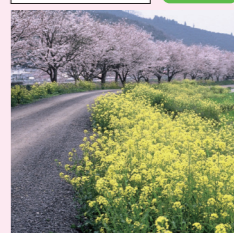
0m 500m 1km

行った日



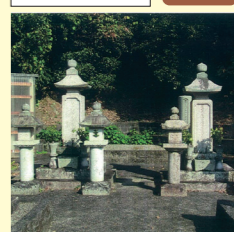
天神のムクの木(県指定天然記念物)
根の周りは約10.5m、高さ18.6m、樹齢(木の年齢)約600年といわれるムクの木が天満神社にあります。古い木の風格があり、木の全体の形が見事に整っていて、兵庫県でもトップクラスの巨木として価値が高いものです。県の天然記念物に指定されています。

行った日



林田川の桜並木と菜の花
林田川の堤防沿いに植えられた約200本の桜並木と、土手をうめつくすように咲く弘法大師ゆかりの菜の花は、4月の初めごろが見ごろです。春の暖かい日差しを浴びて満開となり、花見を楽しむたくさんの人でにぎわいます。

行った日



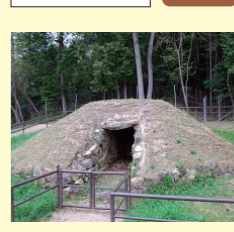
藩主小笠原氏の墓碑
安志藩の殿さま小笠原氏の2代目長達と5代目長武は安志で亡くなったので、法性寺墓地に埋葬されています。もとのお墓が中国自動車道にかかったため、場所は少し移されています。

行った日



木造不動明王立像他絵画2幅(国指定重要文化財)
不動明王立像は、平安時代終わりごろの檜一木造りです。承安元年(1171)に昔の安志藩の殿さま小笠原氏の遠いご先祖さまの加賀美遠光が高倉天皇からいただいたもので、小野篁がつくったと伝えられています。光久寺の本堂は平成21年(2009)に焼けてなくなり、国の重要文化財に指定されています。

行った日



六角古墳
対角線の長さが約7mの小さな六角形の古墳で、7世紀の中ごろにつくられたと考えられています。平成3年(1991)に発掘されたときに日本で初めて六角形の古墳であることが確認されました。その時代にこのあたりを支配していた豪族の山部三馬が、その親せきのお墓ではないかといわれています。県の史跡に指定されています。